

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線323)
FAX63-5139

今月の表紙

今月号の表紙は、小学校体育大会。リレーのスタート時を撮影しました。町内6小学校の児童たちが走り、跳び、投げる。優勝を目指してどの子も必死な姿が印象的でした。(結果は11ページ)



知って得するくらしの

知恵袋

カーペットの掃除と シミ取りの方法

カーペットの手入れは、普段から丁寧に掃除機をかけておくだけでも十分です。でも、髪の毛や糸くず、ペットの毛などがきれいにとれないときは、硬めのナイロンブラシとガムテープを使うと便利です。ブラシを最初にカーペットの毛足の流れと反対方向に、次に流れに沿うようにかけてゴミをかきだし、そのガムテープの粘着面を軽くたたきつけて取り除きます。

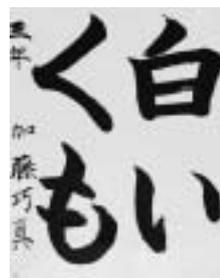
全体が汚れてきたと思ったら、バケツ6分目ほどの湯に少量の住宅用洗剤を入れ、固くしぼったぞうきんでふきます。ふき進めながら、シミになっているところがないかも点検しましょう。

シミは見つけたらできるだけ早く取ることが大事です。ソースやしょうゆなどの水溶性のシミは、固くしぼったタオルでたたき、シミを溶かしてできるだけタオルに移します。

次に、薄めた台所洗剤液を霧吹きで十分に吹きつけ、しぼったタオルで押さえて汚れを移し取ります。

紅やクレヨンなど油性のシミはベンジンを使って同じようにたたいて取り除きます。シミ抜きがすんだら、水ぶきをしてよく乾燥させましょう。

なお、どんな種類の洗剤を使う場合でも、シミ取りにとりかかる前にカーペットのすみなど目立たないところで変色などが起こらないか、必ずテストするようにしてください。



【習字「白くもい」】
加藤 巧真さん

みんなの作品展!



【芦谷手筒花火】

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

たーへん

「たーへん」

紅葉も見ごろとなりました。

どこか出かけましたか……

「ほんなん、きわんたーへんあ

るもんだん、みーかんで済ん

じゃっわ」

「それなら、近くにたくさんあるから、見に行かなくて済んでしまっよ」

という意味です。

「たーへん」は、「大変」から転じたものです。この「大変」とは、もともと「大きな変事」つまり一大事のことでした。それが、ことが重大なさま、苦勞などが尋常でないさまをいうようになり、さらに、「非常に」の意味でも使われるようになりました。「雪が大変降った」というときの「大変」は、「たくさん」の意味があり、これが転じて「たーへん」になったそうです。

幸田町は、山々が集まり田園も広がって、まだ自然がたーへんあるようですが、将来、大変なことにならないようにしたいものです。(文・じんぎょ)



青春トークリレー

第164走者

たなべ まゆ
田辺 真有さん

海谷区在住 23歳 保育士
身長 154cm A型
好きなタイプ 尊敬できる人
好きな芸能人 aiko

こんにちは。私はこの自然豊かな幸田町が大好きです。小さいころ、近くの川や山で遊んだ楽しい思い出がいっぱいあります。今では、大好きな幸田町で、夢だった保育士の仕事をする事ができ、とても幸せです。保育園の子どもたちは、個性豊かな子ばかりで、私もたくさんの刺激を受けながら子どもたちとともに成長していきたいと思っています。

私の趣味はよさこいです。短大時代にっぼんど真ん中祭りに出て、よさこいに魅せられました。みんなで踊っているときの一体感は最高です。また、よさこいは性別や年齢を問わず、だれでもできるのでさまざまな人たちと交流することができます。これからも楽しく踊っていきます。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画情報課まで。



その1
今年5月に散歩に行つて、カマキリの卵を取ってきた園児たち。毎日飼育ケースを見ながら、カマキリの赤ちゃんの誕生を待ちました。次々と産まれる小さな命を、目を輝かせて喜びました。名前は全部ニヨッキと名づけました。その後が大変でした。どんな共食いする姿を見て、園庭にいるアブラムシやバッタを捕まえてはニヨッキ

きに食べさせました。しかし、最後の一匹まで共食いは続きました。
その2
他園からももらった1ミ¹ほどの蚕の卵を観察しました。大きくなってくるにつれ、桑の葉がたくさん必要です。よく食べる子は大きく、食べる悪い子は小さく成長します。子どもたちは手に乗せ、柔らかさ、スベスベさを感じていました。そして、美しい白いまゆを作ると、飛べない蛾になって死んでしまいました。しかし、たくさん卵を残してくれました。
その3
保育士の1人が畑で見つけたカメの卵を園に持ってきてくれました。ニワトリ



の卵の半分ほどの楕円の卵を毎日観察しました。ある日、バケツに土と一緒に入れた卵の一つが割れて、中からミドリガメの赤ちゃんが出てきました。その後、次々と卵からかえり、今は5匹が元気に歩き回っています。子どもたちは口々に「カメがでた！産まれたよ！」と皆に知らせしていました。
こうして、子どもたちは一つひとつの感動を着実に自分のものにしていきます。

わんぱくぐらより
「某月某日
〜わしだ保育園」

命を見つめるの巻

命を見つめるの巻

ちと編集者のひとりごと

今回のフォトニュースでは、愛知万博メモリアル駅伝幸田町代表選考会を取り上げました。愛知万博が終了して1年、長久手会場跡地にあたる愛・地球博記念公園を町の代表である9人選手たちが走ります。代表選手の方々に話を聞きました。代表選手の方々に話を聞きました。代表選手の方々に話を聞きました。

時間が早く過ぎていく！そろそろそんな気が・・・毎年のように思っています。ところで岡崎ナンバーをもう見つけましたか？最近、運転しながらナンバーを見ることが増えていきます。まだまだ三河、でもいつかは岡崎、新しくてもなぜか寂しい気がします。自分の車は、いつになったら仲間入りできるのかな？(T)

